

## 19 石巻の人を<sup>きゅうじよ</sup>救助するために

石巻の人を<sup>きゅうじよ</sup>救助するために、全国からどの  
くらいの応援があったのだろう。

石巻市では、最大震度<sup>しんど</sup>6強の地震<sup>しん</sup>と最大約15mの津波<sup>つなみ</sup>が発生して、  
多くの人<sup>ひがい</sup>が亡くなったり、行方不明<sup>ゆくえ</sup>になったりしました。あまりにも  
被害<sup>ひがい</sup>が大きいので、石巻の消防署、消防団、警察署<sup>けいさつ</sup>の人たちだけでは、  
地震<sup>しん</sup>や津波に巻き込まれた人を助けることはできませんでした。そこ  
で、日本中の消防や警察<sup>けいさつ</sup>の人たちが応援に来てくれました。



応援にかけつけてくれた消防車

・北海道から……	消防車	906台	4,003人
・新潟県 <sup>にいがた</sup> から……	消防車	1,326台	5,091人
・和歌山県から……	消防車	150台	642人
・山口県から……	消防車	50台	214人
・鹿児島 <sup>かごしま</sup> 県から……	消防車	99台	324人
全部で消防車	2,531台、消防士	10,274人	



石巻市の消防団員は全員で1,382名(R 5. 4. 1 現在)です。  
消防団員は、地震<sup>しん</sup>や津波<sup>つなみ</sup>のときに市民<sup>ひなん</sup>の避難<sup>ひなん</sup>の誘導<sup>ゆうどう</sup>や水が入っ  
てこないように水門を閉めたり、地震<sup>しん</sup>や津波<sup>つなみ</sup>にまきこまれた人  
を救助<sup>きゅうじよ</sup>したりしました。  
それから、避難<sup>ひなん</sup>してきた人のお世話もしました。



自衛隊は、約10万人が主に福島県、宮城県、岩手県にかけつけました。自衛隊は地震や津波にまきこまれた人の救助もしましたが、こわれた道路や橋をなおしたり、道路にちらばったがれき（こわれた家などのごんがい）をかたづけたりしました。そのほか、行方不明になった人などをさがしたり、ヘリコプターでけがをした人などを病院にはん送したりしました。



お年寄りを病院にはん送します



避難所の人のためにコンサートを開催しました



震災後も学校の活動に協力してもらいました



警察官は、市民の避難誘導や、交通整理、地震や津波にまきこまれた人の救助などもしましたが、主に行方不明になっている人をさがしました。そのほか、日本全国から警察官が応援にかけつけてくれました。



警察官が行方不明となっている人たちをさがしているようす

○感じたことや考えたことを書きましょう。

-----

-----

-----